



## 穂高商業高校は…

中信地区唯一の商業科単独校であり、**ビジネスを探究する学校**です。2年次と3年次に進路や適性に合わせた3つのコースを選択し、学習します。

また、大学や企業との連携授業、課題研究、商品開発などを行っています。

さらに、県内に先駆けて「ケースメソッド教育」や「ビジネス探究PBL」を実施しています。



## 地域人教育 HOTAKA

人々の生活や暮らしの向上、地域の活性化などを目的に、企業や自治体、地域の人々とコミュニケーションやコラボレーションしながら、地域の問題を発見し、課題を設定して、解決に取り組む探究的な活動です。イベント企画や調査研究、さまざまな商品開発も行っています。



## 商業科目 普通科目

**40% 60%**

週に30時間（1日6時間×5日）のうち12～13時間（40%）が商業科目の授業です。「簿記会計」や「情報処理」「ビジネス基礎」など、さまざまな商業科目を学びます。2年次以降、コースを選択し、専門的な内容をさらに深めます。

## 開発商品



塩の道 穂商シュー



米粉どら焼き「いなほ」

## ケースメソッド

ビジネスの場面における出来事を題材に、どのように行動するかを考え、話し合いをする授業です。課題解決に向けた力や意思決定能力を身に付けるとともに、周囲を尊重しながら議論することで円滑なコミュニケーションを図るための能力を育みます。



## PBL

地域の企業から経営などに係る課題の提供を受けて企業が抱えている課題などを題材に、調査や分析、検証、プレゼンテーション、ポスターセッションなどを行う授業です。



一例として、日本酒を製造する酒蔵から、廃棄される酒粕の有効活用に向けた課題に取り組んでいます。



## 高大連携授業

「会計・ビジネス探究コース」では、松本大学の先生から週2時間「簿記会計」の講義を、また、8月と3月に松本大学のキャンパスで講義を受けています。

